

基本戦略（草案）（要旨）

我が国は、すべての国民が情報技術（IT）を積極的に活用し、かつその恩恵を最大限に享受できる知識創発社会の実現に向け、早急に革新的かつ現実的な対応を行わなければならない。市場原理に基づき民間が最大限に活力を発揮できる環境を整備し、5年以内に世界最先端のIT国家となることを目指す。

．基本理念

1．IT革命の歴史的意義

（1）IT革命と知識創発社会への移行

IT革命は産業革命に匹敵する。IT技術の進歩は知識の相互連鎖的な進化をもたらし、高度な付加価値が生み出される知識創発社会へと移行する。

（2）新しい国家基盤の必要性

我が国が繁栄を維持し、国民全体の更に豊かな生活を実現するためには、情報と知識が付加価値の源泉となる新しい社会に相応しい国家基盤を早急に確立する必要がある。

2．各国のIT革命への取り組みと日本の遅れ

（1）各国のIT国家戦略への取り組み

知識創発のための環境整備が21世紀の世界の比較優位構造を決定するため、欧米・アジア諸国はIT基盤構築を国家戦略として集中的に進めている。

（2）我が国のIT革命への取り組みの遅れ

我が国のインターネット利用の遅れの主要因は、地域通信市場の独占による高い通信料金、公正・活発な競争を妨げる規制の存在等、制度的な問題にある。

3．IT国家基本戦略

（1）国家戦略の必要性

制度改革や施策を5年間で緊急・集中的に実行する。そのためには国家戦略を構築して国民全体で構想を共有することが重要である。

民間は競争を通じて様々な創意工夫を行い、政府は、市場原理に基づく開かれた市場が上手く機能するような環境整備を行う。

（2）目標

- ・全ての国民がITリテラシーを備え、ゆとりと豊かさを実感できる。
- ・自由で規律ある競争原理に基づいて経済構造改革の推進と産業国際競争力の強化を図り、世界最先端の情報技術やコンテンツを生み出す一大IT拠点となる。
- ・知識創発社会の地球規模での発展に向けて積極的な国際貢献を行う。

重点政策分野

1. 超高速ネットワークインフラ整備及び競争政策

(1) 目標

5 年以内に超高速アクセス（目安として 30～100Mbps）が可能な世界最高水準のインターネット網の整備を促進し、必要とするすべての国民がこれを低廉な料金で利用できるようにする。（少なくとも 3000 万世帯が高速インターネット網に、また 1000 万世帯が超高速インターネット網に常時接続可能な環境を整備を目指す。）

1 年以内に有線・無線の多様なアクセス網により、すべての国民が極めて安価にインターネットに常時接続することを可能とする。

IPv6 を備えたインターネット網への移行を推進する。また、無線アクセス網からの効率的接続を実現する。

等

(2) 推進すべき方策

超高速ネットワークインフラの整備及び競争の促進

ア) 非対称規制導入による支配的事業者の反競争的行為に対する監視機能の強化、利用者の苦情や事業者間紛争の迅速な処理等のための専門機関の設置、及び公正取引委員会の機能強化による競争阻害行為排除
イ) 光ファイバー等の公正・公平な利用促進のための法制度の見直しと再構築

ウ) 無線周波数資源について、オークションなども考慮に入れた公正・透明な割り当ての検討・実施

情報格差の是正

離島などにおけるユニバーサル・サービスの方法の検討

研究開発の支援・促進。

等

2. 電子商取引

2002 年までに電子商取引を阻害する規制の改革、民事・消費者保護等に関する法制整備等により、インターネット時代にふさわしい制度整備を行い、電子商取引を促進する。

3. 電子政府の実現

2003 年までに行政（国・地方公共団体）内部の電子化、官民接点のオンライン化、行政情報のインターネット公開・利用促進、規制・制度の改革等を推進する。

4. 人材育成の強化

情報リテラシーの向上に努め、IT を指導する人材を育成するとともに、IT 技術者・研究者の増大に取り組む（2005 年までに IT 関連修士・博士号取得者の水準が米国水準を上回り、また 3 万人の優秀な外国人 IT 技術者等を確保）。